

1)ペーター・ハントケの文学研究、2)近代ヨーロッパ精神と近代日本の比較研究

＝研究概要＝

1)現代のドイツ語圏文学を代表するペーター・ハントケの作品研究:

1960年代後半以降、文学的に最も成功すると同時に、最も大きな社会的波紋を投げかけているオーストリア人作家ペーター・ハントケの文学世界の全体像を、個別の作品を解釈することによって探究する。特に、90年代以降のユーゴスラヴィア問題との関わりにおける、本作家とヨーロッパ世界との軋轢を取り上げ、現代のヨーロッパ世界が如何なる問題の下にあるかを明らかにすることを目指している。

2)日欧比較文化:

近代日本が範としてきた近代ヨーロッパが、その精神を如何に発展させてきたか、またその功罪は如何なるものであるかを明らかにすると共に、それとの比較を通して近代日本の発展の特異性を明らかにすることを目指す。

特に、近代ヨーロッパ精神の根幹を成す「個人主義」の発展に光を当てることによって近代ヨーロッパ精神の本質を浮き彫りにし、近代日本の理念との根本的な相違を明らかにする。具体的には、近代ヨーロッパ史におけるドイツと近代日本との類縁性および第二次世界大戦後の両国間に存在する異なる再生のあり方を比較考察することによって、現在に至る近代日本の問題の本質を明らかにすることを目指す。

研究実績

平成15年度・16年度科学研究費採択:「ペーター・ハントケの文学における自然描写が持つ禁断批判的な意味に関する研究」他